

# 報告事項 1 第 1 1 期事業報告の件

## 第 1 1 期 事 業 報 告 書

自 令和 4 年 1 0 月 1 日 至 令和 5 年 9 月 3 0 日

### 1 事業活動の概要に関する事項

#### (1) 事業概要

当期は、令和 3 年 4 月 1 日からを計画期間とする新・中期経営計画<sup>(注)</sup>に基づく 3 年目の年となります。(注 計画期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日の 5 年間)

太陽光発電事業については、「福島空港メガソーラー発電所 (1, 194kW)」、「大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所 (1, 890kW)」、「県北メガソーラー発電所 (1, 500 kW)」、「檜葉町総合グラウンド斜面ソーラー (40kW)」、「ならばフロートソーラー (49. 5kW)」を適切に運営いたしました。

これらの太陽光発電所における保守・点検業務については、東北電気保安協会への委託に加え、遠隔モニタリングシステムによる常時監視、日常的な巡視点検、除草活動等を行うことで、異常の早期発見に努め迅速な対応を行いました。

次に、地元自治体や企業と連携して取り組んできた「富岡復興メガソーラー・SAKURA発電所」(19, 800 kW)について、隣接地に立地している当社浜通り事務所が環境整備等を担うなど、発電所の運営・管理に協力してまいりました。

次に、阿武隈風力発電事業については、川内復興エナジー合同会社・いわき神楽山復興エナジー合同会社が、今期令和 4 年 1 0 月・令和 5 年 4 月にそれぞれ着工。前期中に着工した福島復興風力合同会社を含めた 3 風力発電事業者は、令和 7 年の運転開始に向け着実に工事を進めております。

次に、小水力発電事業については、マイクロ水力発電システムを手掛ける企業と連携し、水道施設を活用した発電事業に参画し、当社はその保守管理に当たっております。また、福島県内の水道事業者等に対し、小水力発電事業化に向け、現地調査を行い導入の提案を行いました。

次に、自家消費型再エネ事業の推進・支援については、自家消費型太陽光発電設備導入を検討している企業や自治体に導入に向けた支援や提案を行いました。

次に、スマートコミュニティ事業については、葛尾村とともに設立した「葛尾創生電力株式会社」において、特定送配電事業及び小売電気事業の安定運営を図るため施設への技術支援を行うとともに経営改善に向け、安定した電力調達・需給調整機能の確保に向けた BG 加入検討の取組みを行いました。

また、葛尾創生電力で得たスマコミのノウハウを活かし、これから特定送配電事業者登録申請を予定する事業者に対して助言・指導を行いました。

次に、普及・啓発・人材育成については、福島空港メガソーラー、県北メガソーラー発電所、富岡復興メガソーラー・SAKURAへの視察・見学の対応を行いました。視察・見学には、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒から大学や企業の研究・技術者等も来場しました。引き続きこれらの機会をとらえ、太陽光発電所の運営や福島県の再生可能エネルギー施策等の紹介を行い、普及・広報に努めてまいります。

次に、福島新エネ社会構想の一つの柱である阿武隈・浜通り沿岸地域の共用送電網整備を行うため、電気事業者等と連携して設立した「福島送電株式会社」については、平成30年2月、共用送電線網整備に係る工事に着手し、浜通り沿岸地域等における工事を完了いたしました。令和2年1月6日に新設となった太陽光発電所と連系し送電事業を開始し、令和2年9月までに予定していたすべての太陽光発電所との連系が完了。また、本年8月9日には風力発電所1か所が風力発電所として初めて連系いたしました。現在、主に阿武隈山地地内において、今後新設となる風力発電所との連系を目指し送電線敷設及び電気設備整備に取り組んでおり、令和6年度中の竣工を目指しております。

当社は、福島県における再生可能エネルギーを牽引する企業として、引き続き健全な経営を進めながら、持続可能なエネルギー社会の構築を目指し、自然と人の力を活かした様々な事業にチャレンジしてまいります。

## (2) 発電事業の実施状況

### A 太陽光発電事業について

#### ① 発電・売電実績（令和4年10月～令和5年9月）

（金額は税抜き）

発電施設名	発電量（kWh）	売電金額（円）	前年同期比	売電単価（税抜き）
福島空港 メガソーラー発電所	1,352,644 (1,339,552)	48,695,198 (48,223,867)	100.98%	36円
大熊町ふるさと再興 メガソーラー発電所	2,449,910 (2,393,065)	78,397,120 (76,578,080)	102.38%	32円
県北 メガソーラー発電所	2,479,893 (2,368,462)	52,077,734 (49,737,698)	104.70%	21円
楢葉町総合グラウンド 斜面ソーラー発電所	55,818 (56,752)	2,009,438 (2,043,050)	98.35%	36円
ならはフロート ソーラー発電所	76,828 (72,306)	1,843,876 (1,735,336)	106.25%	24円
合計	6,415,093 (6,230,137)	183,023,366 (178,318,031)	発電量 102.97% 売電額 102.64%	—

※（ ）内数字は前年同期の実績

※発電量3期比較…参照 資料1

#### ② 今期中の出力制御の実施状況【期間：3月～9月（7～9月は実績なし） 損失額は概算】

施設名	実施日数・時間(前期)	出力制御損失額(円)	代理制御調整額(円)	損失額(円)
空港MS(北)	6日(2日)	-558,900		-558,900
空港MS(南)	6日(2日)	-406,332		-406,332
空港MS(追尾)			-22,608	-22,608
大熊MS	5日(2日)	-1,330,528		-1,330,528
楢葉斜面			-42,804	-42,804
県北MS	6.5時間(1時間)	-170,058	114,849	-55,209
ならはフロート	11.5時間(4.5時間)	-14,592	4,200	-10,392

損失額合計

-2,426,773

#### ③ 発電施設改善に向けた取組み

##### a. 発電量改善に向けた取組み（PCS更改）

発電開始から間もなく10年を迎える福島空港メガソーラー発電所において、PCSの性能低下による発電量の低下を改善するため、以下の実証契約を締結し、発電量の維持改善に向けた取組みを開始した。

◎太陽光発電設備の発電性能改善サービス実証契約（契約期間10年）

◎契約先：ヒラソル・エナジー株式会社

◎実証契約の目的

福島空港MS発電所（北発電所・ソーラーパーク）の発電性能改善を目的とする。

◎実証契約の仕組み

(i) データ収集システム(センサー等)を設置し性能分析・改善計画の策定(参照…資料2)

(ii) 改善計画に基づき改修工事の実施

(iii) 発電性能改善分析

(iv) 発電性能の改善幅相当のサービス料支払い(改善売電額の5分の2)

※今回は、性能低下(稼働停止)したPCS5台(5.5kw×5台)を交換。

※改修工事に係る費用(工事、PCS代等)は、ヒラソル・エナジー(株)が負担。

◎8月10日(改修工事後の運用開始日)～9月30日までの改善売電額及びサービス料金額(税抜き)

・改善売電額：174,261円

・サービス料金額：69,705円

### (3) 各種事業の推進状況

#### ① 富岡復興メガソーラー・SAKURA発電所関連事業

当社は、富岡町及びJ R東日本エネルギー開発株式会社と連携して設立した「富岡復興エナジー合同会社」に3,000万円の匿名組合出資を行うとともに、富岡復興メガソーラー・SAKURAにおける次の業務を受託し、発電所の円滑な運営に取り組んでいる。

##### ア 植栽（除草）管理業務

- ・概要 発電所敷地約40haの除草業務
- ・委託元 発電所のOM企業である鹿島建物総合管理株式会社

##### イ 日常管理業務

- ・概要 発電所の巡視、見学対応等の現地対応業務
- ・委託元 発電所のAM企業である地域エネルギー開発株式会社

#### ② 福島送電株式会社の取り組み

福島送電は、「福島イノベーション・コースト構想」及び「福島新エネ社会構想」に基づく福島県浜通り地域（沿岸部）及び阿武隈山地における再生可能エネルギーの導入拡大に向けた送電線網の増強を図るため、共用送電線網の建設及び運営を行う事業会社として設立された。

平成31年2月4日に経済産業大臣より送電事業<sup>※1</sup>の許可を取得。令和元年12月9日には株式会社への組織変更を行った。

※1 送電事業とは、発電事業者から受電した電気を一般送配電事業者（東京電力パワーグリッド株式会社（以下「東電PG」という。））に福島送電が振替供給を行う事業。

#### 【福島送電株式会社の概要】

ア 所在地	福島市中町4番20号（令和2年3月19日移転）
イ 組織変更年月日	令和元年12月9日
ウ 資本金	1,300万円（うち当社出資額510万円）
エ 株主	福島発電㈱、東京電力ホールディングス㈱、福島商事㈱ ㈱東邦銀行
オ 目的	① 送電線・変電所の設計、建設 ② 送電所・変電所の保守・維持、運営管理 ③ 送電線・変電所の整備のための調査及び準備 ④ 送電線・変電所の運営管理、連系に関するコンサルタント業務

#### 【共用送電線網整備事業の概要】

共用送電線網整備事業は、新たに設置される再生可能エネルギー（太陽光、風力）発電所21か所（最大受電電力計約616MW<sup>※2</sup>）と連系するため、総延長約86kmの送電線及び500kV都路変電所等電気設備の建設、整備を主な計画内容とする。

平成30年2月、共用送電線網整備に係る工事に着手し、浜通り地域（沿岸部）等、約53km区間の工事が竣工した。

現在、阿武隈山地地内において、送電線敷設（約33km）及び154kV阿武隈南

変電所等電気設備整備を進め、令和5年以降、新設となる風力発電所との連系を目指している。なお、当整備事業の竣工は令和6年度中としている。

※2 「共用送電線網」連系（予定を含む）発電所（令和4年10月現在、東電PG連系承諾）

太陽光発電所	事業地点11か所	最大受電電力計	234,277kW
風力発電所	事業地点10か所	最大受電電力計	382,506kW
計	事業地点21か所	最大受電電力計	616,783kW

### 【送電事業の概要】

令和2年1月6日、浜通り地域（沿岸部）及び阿武隈山地地内の一部区間（各ルート長計約53km）において、新設となった太陽光発電所と連系（接続）し、送電事業を開始した。

令和5年10月31日現在、太陽光11発電所（最大受電電力計約234MW）と連系している。また、本年8月9日に風力発電所1か所（最大受電電力約7MW）が、風力発電所として初めて連系した。

今後の他風力発電所との連系は、令和6年度以降順次なされる予定としている。

※「共用送電線網」の連系済み発電所（令和5年10月現在）

太陽光発電所	事業地点11か所	最大受電電力計	234,277kW
風力発電所	事業地点1か所	最大受電電力	6,990kW
計	事業地点12か所	最大受電電力	241,267kW

### ③ 葛尾村スマートコミュニティ事業の取り組み

葛尾村との共同出資により設立した「葛尾創生電力株式会社」は、令和2年12月に葛尾村役場を中心としたエリアに、太陽光発電・蓄電池・自営線等を建設し、再生可能エネルギーの地産地消と防災力強化を目的としたスマートコミュニティの構築を完了した。

令和2年10月1日付で小売電気事業者・特定送配電事業者として登録され、令和2年11月から特定送配電事業として、公共施設や村営住宅等へ電力供給を開始。また、令和3年9月からは特定送配電エリア外の葛尾村村民等へ小売電気事業として電力供給を開始している。

令和4年度決算においては、電力卸市場が比較的穏やかに推移したことや高圧料金の値上げ実施により、単年度で6,662千円の黒字を計上。令和4年度おける繰越利益剰余金は▲43,017千円となっている。現在、需給調整機能、安定した電力調達の確保に向けBG加入等について検討中。

### 【葛尾創生電力株式会社の概要】

- ア 所在地 双葉郡葛尾村大字落合字菅ノ又1-8
- イ 設立 平成30年10月10日
- ウ 資本金 4,200万円（うち当社出資額2,000万円）
- エ 株主 葛尾村、福島発電㈱
- オ 事業内容 ①再生可能エネルギー発電設備等の開発及び建設事業  
②再生可能エネルギー発電設備等の運営及び保守管理事業  
③送配電設備の開発、建設及び保守管理事業

- ④特定送配電事業
- ⑤小売電気事業
- ⑥葛尾村の振興に関する事業

【特定送配電事業の概要】

・契約戸数	高圧需要家	13件	(前年同期報告実績	13件)
	低圧需要家	110件	(前年同期報告実績	117件)

【小売電気事業の概要】

・契約戸数	高圧需要家	3件	(前年同期報告実績	3件)
	低圧需要家	17件	(前年同期報告実績	17件)

④ 福島復興風力合同会社について

平成27年11月福島復興風力株式会社に出資し、阿武隈復興風力構想に参画するための準備を進めた。

平成28年7月福島県公募の仮事業者に、平成29年4月には同本事業者にそれぞれ選定され、平成30年3月会社形態を円滑な運営を図るため合同会社へ変更した。

各種許認可取得が完了し、令和4年4月1日に風力発電所の建設工事に着手。

【工事スケジュール】

ア	伐採造成工事	令和4年4月	～	令和6年7月
イ	風車基礎工事	令和5年6月	～	令和6年9月
ウ	電気工事	令和5年6月	～	令和6年12月
エ	風車輸送・組立	令和5年11月	～	令和6年12月
オ	試運転調整	令和6年12月	～	令和7年2月

【福島復興風力合同会社の概要】

ア	所在地	福島市中町5番21号(平成30年3月29日移転)
イ	代表社員	住友商事株式会社
ウ	設立年月日	平成27年11月11日(平成30年3月28日組織変更)
エ	総出資価額	3,650百万円(令和5年10月現在) (うち当社出資価額 125百万円)
オ	業務執行社員	(株)ジャパンウィンドエンジニアリング、福島発電(株)、 (一財)ふくしま未来研究会、JR 東日本エネルギー開発(株)、 住友商事(株)
	社員	(株)レノバ、清水建設(株)、信夫山福島電力(株)、 (株)大林クリーンエナジー

【発電事業の概要】

ア	予定地	葛尾村、浪江町、大熊町及び田村市の4市町村にまたがる地域
イ	発電出力	145,000kW(約3,200kW×46基)
ウ	着工	令和4年4月
エ	運転期間	令和7年3月～令和27年2月(20年間)

オ 総事業費 約670億円

【開発業務に関する現状】

工事進捗は、風車基礎工事の工程入替え、第2工区の林道活用等、施工計画の見直しを図り、ほぼ計画通りの進捗。現在、第1・第2工区において伐採木の搬出、各工区においては造成工事及び基礎工事を実施中。

9月の記録的な豪雨によって、法面崩壊等の被害が発生。現在、復旧作業を進めており工事工程に影響なし。

風車の水切りは令和5年11月に第1回目を実施し、令和6年4月～10月にかけて6回実施予定。藤原埠頭内の保管ヤードで保管し、令和6年4月から順次搬出を開始。

令和5年8月10日 第6回増資実行

令和5年8月28日 第6回融資実行

令和5年12月 第7回増資・融資予定

⑤ 川内復興エネルギー合同会社について

平成28年12月福島県阿武隈風力発電事業者選定公募の仮事業者に、平成29年4月には同本事業者にそれぞれ選定され、平成30年10月JR東日本エネルギー開発(株)が開発主体となる川内復興エネルギー合同会社に出資参画した。

民有林の開発認可取得が完了し、令和4年10月伐採工事に着手。国有林についても令和5年1月下旬までに保安林解除、保安林内作業許可、国有林野貸付契約締結が完了し着工に至った。

【工事スケジュール】

ア 伐採・造成工事	令和4年10月	～	令和6年1月
イ 風車基礎工事	令和5年7月	～	令和6年6月
ウ 電気工事	令和5年6月	～	令和6年12月
エ 風力発電機建設	令和6年4月	～	令和6年11月
※風車輸送水切り3船目			令和5年7月
オ 試運転調整	令和6年10月	～	令和7年1月

【川内復興エネルギー合同会社の概要】

ア 所在地	双葉郡川内村大字上川内字下原69番地
イ 代表社員	JR東日本エネルギー開発株式会社
ウ 設立年月日	平成30年10月23日
エ 総出資価額	1,308百万円(令和5年9月現在) (うち当社出資価額 100百万円)
オ 業務執行社員	JR東日本エネルギー開発(株)、福島発電(株)

【発電事業の概要】

ア 予定地	川内村鬼太郎山周辺の山稜上
イ 発電出力	40,730kW(4,300kW×10基)

- ウ 着 工 令和4年10月
- エ 運転期間 令和7年2月～令和27年1月（20年間）
- オ 総事業費 約223億円

**【開発業務に関する現状】**

現在、コアストーンの破碎作業の発生と、伐採木の量が想定の3～4割増しとなっていることから、場内運搬作業が多くなり、土工事が遅延しているが、破碎機械の増設並びに場内運搬作業を昼夜間を通して複数班で実施し時間短縮を図っている。

9月の記録的豪雨により、工事用道路、電線管の洗堀、法面崩壊が発生した。管路の電線においては再施工が必要。日曜日作業や舗装工のサイクルを短縮し、早期の工程回復を目指す。

令和5年11月より、風車及び変電所の基礎工事を開始予定。

**⑥ いわき神楽山復興エネルギー合同会社について**

平成29年5月福島県阿武隈風力発電事業者選定公募の仮事業者に、平成30年7月には同本事業者にそれぞれ選定され、令和元年12月JR東日本エネルギー開発(株)が開発主体となるいわき神楽山復興エネルギー合同会社に出資参画した。

令和5年4月6日に埋設管工事を着工し、併せて各種許認可取得の手続きを進め5月10日に起工式（安全祈願祭）を執り行った。

**【工事スケジュール】**

ア 伐採・造成工事	令和5年4月	～	令和6年3月
イ 風車基礎工事	令和5年10月	～	令和6年6月
ウ 電気工事	令和5年6月	～	令和6年10月
エ 風力発電機建設	令和6年4月	～	令和6年10月
オ 試運転調整	令和6年9月	～	令和7年1月

**【いわき神楽山復興エネルギー合同会社の概要】**

ア 所在地	いわき市泉町下川字大剣1番地97
イ 代表社員	JR東日本エネルギー開発株式会社
ウ 設立年月日	令和元年12月3日
エ 総出資価額	1,665百万円（令和5年4月現在） （うち当社出資価額 85,915千円）
オ 業務執行社員	JR東日本エネルギー開発(株)、福島発電(株)
社員	磐栄運送(株)、(株)蒲田産業、常磐興産(株)

**【発電事業の概要】**

ア 予定地	いわき市神楽山周辺の山稜上
イ 発電出力	61,200kW（4,300kW×16基）
ウ 着 工	令和5年4月
エ 運転期間	令和7年2月～令和27年1月（20年間）
オ 総事業費	約347億円



## 【開発業務に関する現状】

国有保安林、民有保安林、民有普通林の全エリアにて伐採工事を開始しているが、管理用道路工事及びヤード造成工事の遅れによる工程の遅延が発生しており昼夜作業の実施並びに伐採木集積用の大型仮設ヤードの増設等を実施し改善を図っている。

タワー、ブレードの水切りは、令和5年7月14日に開始され8月14日までに全4回が完了した。

- ・国有保安林解除予定告示 令和5年3月22日 保安林内作業許可 令和5年6月8日
  - ・民有保安林解除予定告示 令和5年5月16日 保安林内作業許可 令和5年6月26日
  - ・民有普通林地開発許可 令和5年7月19日
- 令和5年8月4日 第2回融資実行

## (4) 普及・啓発・人材育成事業の実施状況

### ① 視察・見学事業（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

#### ア 福島空港メガソーラー・ソーラーパーク

合計 12団体 169人 (前期 12団体 384人)

以下は内訳

・一般視察・見学者

7団体 34人 (前期 9団体 57人)

・小中高校の生徒・児童見学者

5団体 135人 (前期 3団体 327人)

#### イ 県北メガソーラー発電所

合計 4団体 243人 (前期 5団体 336人)

※見学者は、今期・前期共に全て小学児童

#### ウ 富岡復興メガソーラー・SAKURA

合計 12団体 180人 (前期 6団体 201人)

以下は内訳

・一般視察・見学者

8団体 76人 (前期 2団体 32人)

・小中高校の児童・生徒見学者

4団体 104人 (前期 4団体 169人)

※大熊ふるさと再興メガソーラー発電所（前期視察見学者 4団体18人）及びその他の発電所（前期視察見学者 1団体4人）においては、今期視察見学者は無し。

## (5) 関係団体との連携した取り組み

### ① 「一般社団法人福島県再生可能エネルギー推進センター」との連携

新たな再生可能エネルギー事業開発に向けて、調査を委託するとともに各種セミナーの開催に協力した。

### ② 「エネルギーエージェンシーふくしま」との連携

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会に参加するとともに、「第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア (REIFふくしま 2023) へ出展した。

開催日：令和5年10月12日(木)～13日(金)

開催場所：ビックパレットふくしま

出展内容：パネル展示による事業紹介

## (6) その他の事業取り組み

### ① 小水力発電事業の取り組み

#### ア 水道施設を活用したマイクロ発電事業

下記の企業と企業グループを組成し福島地方水道用水供給企業団が募集する水力発電事業に参画。保原第二受水池流量計室に小水力発電施設を設置(令和4年6月1日連系開始)し、現在、同施設の保守管理業務に当たっている。

#### ○企業グループ構成

- ・ ㈱DK-power(発電事業者、ダイキン工業㈱100%出資の子会社)
- ・ 三井住友トラストファイナンス㈱(ファイナンス事業者)
- ・ 福島発電㈱(代表事業者及び保守管理、事務担当事業者)

○発電出力 22.2kW(定格)、稼働率70%、年間発電量135MWh

○第11期総発電量 119,900kWh(連系開始日から累計159,485kWh)

#### イ 福島県内の水道事業者等に対する事業化提案

#### ○事業化提案に向けた現地調査等の実施

##### a. 白河地方広域市町村圏整備組合

- ・ 前期から芝原浄水場並びに圧力調整池の現場調査を行い、マイクロ水力発電システムのシミュレーションを作成し事業化を提案してきたが、導入に当たり圧力調整池に課題が判明し、修正案にて再提案を行った。
- ・ 水道設備運用上の理由から見送りとの回答を受けた。(令和5年3月13日)

### ② 自家消費型再エネ事業の取り組み及び支援

#### ア 民間企業に対する太陽光発電施設の導入支援

##### a. アマダオートメーションシステムズ福島工場

…AAS提案済み。現在、回答待ちの状況

##### b. 福島空港

…PPA事業実施可能性の試算結果提示。現在、空港側において航空局舎等の周辺需要施設を含めた事業可能性を検討中

c. アルテクロス㈱

… P P Aに関する説明を実施。今後、電気使用量および図面等の提供を受けシミュレーション実施予定

d. わたり福祉会…太陽光発電設備の提案書を作成

## イ 公共施設を対象とした P P A手法による太陽光発電設備の導入提案

a. 福島県立医大

…カーポート型太陽光発電設備導入に関する試算結果を提示。電気料金削減は難しいことから敷地内調整池を活用した野立てによる P P Aの実施を再検討することとなり、提案書を作成中

b. 田村市あぶくま洞管理事務所

… P P Aについて説明済み。今後詳細な資料の提供を受け提案書作成予定

c. 田村市…市所有施設の太陽光発電設備の提案書を作成

d. 福島市（環境課）

…同課が実施した「公共施設への太陽光発電設備導入に係るサウンディング型市場調査」に参加し、市内数施設の太陽光発電設備の提案書を作成

## ③ 「太陽光発電施設の O & M 事業化検討会」への参画

産総研、エネルギーエージェンシーふくしま支援の下、「サステナブル・ソーラー ふくしま ( S S F ) 」(ワーキンググループ) を設立。法人化を視野に県内太陽光発電の安定的、持続的運営が確保されるよう発電プロジェクトの企画、設計、施工から保守管理、廃棄までを見通したアセットマネジメント型の事業に取り組んでいく。

○福島県再エネ事業化実証研究支援事業の採択

・事業名

太陽光発電の新しい設置形態とリユースバッテリーを活用した EMS の開発実証

・申請者 株式会社エディソン

・7月採択 ( P P A 事業の導入促進)

(参画企業)

福島発電株式会社、会津電力株式会社、株式会社 A C D C、株式会社エディソンの4社。

## (7) C S R 活動報告

### ① 「夏休み親子科学実験教室」の開催

- ・開催日：令和5年7月29日(土)
- ・場 所：福島空港3F多目的会議室
- ・実験テーマ：「活性炭で電池を作ってみよう」
- ・参加者：2組 2名(保護者除く)

### ② 寄附について

ア 令和5年8月

福島県立図書館「県民のくらし応援文庫」へ110冊(200,000円相当)を寄附

※県立図書館への寄附については、第4期から行っており、累計579冊  
(1,200,000円相当)となっております。

イ 令和4年12月

・認定NPO法人パンダハウスを育てる会 10,000円

#### (8) 新型コロナウイルス感染症に対する取組み

新型コロナウイルスの感染拡大状況の変化を見極め感染予防対策に積極的に取り組みました。また、本年5月から感染法上の位置付けが5類感染症へ移行となりましたが、感染者・濃厚接触者への対策は従前通りとし、社内での感染拡大防止に努めました。

## 2 運営組織の状況に関する事項

### (1) 株主総会の開催状況

#### ① 第10期定時株主総会

開催日時 令和4年12月23日(金) 午前10時50分

開催場所 杉妻会館3階「百合」

議 事

ア 報告事項

報告事項1 第10期事業報告の件

イ 決議事項

議案第1号 第10期計算書類承認の件

議案第2号 剰余金の処分の件

議案第3号 取締役任期満了に伴う新取締役選任の件

議案第4号 役員報酬の件

議案第5号 その他

#### ② 臨時株主総会

開催日時 令和5年4月27日

書面開催

ア 決議事項 監査役1名選任の件

### (2) 取締役会の開催状況

#### ① 第65回取締役会

開催日時 令和4年11月28日(月) 午前9時55分

開催場所 杉妻会館3階「百合」

議 事

ア 報告事項

報告事項1 第10期事業報告の件

イ 決議事項

議案第1号 第10期計算書類承認の件

議案第2号 定時株主総会招集の件

議案第3号 剰余金の処分の件

議案第4号 取締役任期満了に伴う新取締役推薦の件

議案第5号 役員報酬について株主総会に提案する件

議案第6号 福島発電株式会社就業規則改定の件

議案第7号 福島発電株式会社臨時社員就業規則改定の件

議案第8号 育児・介護休業等に関する規程改定の件

議案第9号 その他

② 第66回取締役会

開催日時 令和4年12月23日(金) 午前10時00分

開催場所 杉妻会館3階「百合」

議 事

ア 報告事項

報告事項1 事業報告の件

イ 決議事項

議案第1号 第11期事業計画の件

議案第2号 その他

③ 第67回取締役会

開催日時 令和4年12月23日(金) 午前11時45分

開催場所 杉妻会館「百合」

議 事

ア 決議事項

議案第1号 代表取締役選定の件

議案第2号 役付取締役選定の件

④ 第68回取締役会

開催日時 令和5年3月8日(水) 午前9時55分

開催場所 杉妻会館「百合」

議 事

ア 報告事項

報告事項1 事業報告の件

イ 決議事項

議案第1号 福島発電株式会社就業規則改定の件

議案第2号 福島発電株式会社臨時社員就業規則改定の件

議案第3号 福島発電株式会社給与決定等に関する規程改定の件

議案第4号 その他

⑤ 第69回取締役会

開催日時 令和5年4月13日

書面開催

ア 決議事項

議案第1号 監査役の選任を臨時株主総会に提案する件

⑥ 第70回取締役会

開催日時 令和5年5月24日(水) 午前9時58分

開催場所 杉妻会館「石楠花」

議 事

ア 報告事項

- 報告事項 1 事業報告の件
- イ 決議事項
- 議案第 1 号 福島送電株式会社取締役任期満了に伴う次期取締役候補者指名の件
- 議案第 2 号 葛尾創生電力株式会社取締役任期満了に伴う取締役選任の件
- 議案第 3 号 その他  
葛尾創生電力株式会社の定款変更承認の件

⑦ 第 7 1 回取締役会

開催日時 令和 5 年 8 月 3 0 日 (水) 午前 9 時 5 7 分

開催場所 杉妻会館 「石楠花」

議 事

ア 報告事項

報告事項 1 事業報告の件

イ 決議事項

議案第 1 号 福島発電株式会社就業規則改定の件

議案第 2 号 福島発電株式会社準契約社員就業規則改定の件

(3) 株主数及び発行株式数

- ① 株主数 24 法人 (前期 24 法人)
- ② 発行株式数 2, 170 株 (前期 2, 170 株)

(4) 役員に関する事項

役職名	氏 名	所 属 等	備 考
代表取締役社長	吉田 孝	福島発電株式会社	令和 4 年 12 月 23 日 重任
取締役	齊藤 紀明	福島県企画調整部 次長	令和 4 年 12 月 23 日重任
同	工藤 浩明	東北自然エネルギー株式会社 常務取締役	令和 4 年 12 月 23 日重任
同	新保 隆志	大熊町副町長	令和 4 年 12 月 23 日重任
監査役	高野 真司	(株)東邦銀行 執行役員 営業本部副本部長兼法人 コンサルティング部長	令和 5 年 3 月 24 日辞任
同	本田 拓野	(株)東邦銀行 法人コンサルティング部長	令和 5 年 4 月 27 日就任